

ルーマニア事情に関する所感

住友商事（株）
自動車第二部
橋本祐吾

1. 日産ルーマニアの会社・事業概要

日産ルーマニアは日産製完成車、補修部品の輸入、卸売り代理店として1992年に住友商事100%子会社として設立。資本金は20万4千ドル（相当のルーマニア・Lei）であり、設立10年目に当たる本年2002年度は日産製新車を年間800台程度販売できる見込み。

2. ビジネスでうまくいった成功例 / 失敗例

同社の完成車輸入販売は、過去8年間、日本車中一番のシェア-を続維持しており、ここ数年間は会社業績が黒字基調であることにより、ビジネスとしては成功したと考えている。

3. ビジネスを進める上でのルーマニアの（日本または、欧州とは異なる）特殊事情、困惑・苦労した事例（税金、輸入手続、登録手続、各種規制など）

税金：ルーマニアはEU加盟に向け鋭意法制度を見直し中であり、税金についても頻繁に法律が変わるため、正確かつタイムリーな税金計算に気を使う必要がある。

輸入手続：原則EUとハーモナイズを試みており、輸入手続は年々改善されつつあり、比較的スムーズになってきたが、まだ100%簡潔明瞭になったとは言い切れない。今後EUへの加盟準備の段階で解決されると考える。

登録手続：登録手続きは複雑であるが、日本や大陸欧州に比して特に複雑とは考えられない。

保険、銀行制度が比較的旧態已然としており、時間が掛かる。銀行送金等のルーティーンワークは特に問題ないが、銀行での資金借り入れや保険会社からの保険金入金等で日本、欧州に比して著しく時間が掛かる場合がある。

労働力：ルーマニア人は一般的に勤勉であり、労働力の質は高い。旧国営企業、大企業では労働組合との関係で苦勞している場合も散見されるが、中小私企業では、期待する労働力を比較的容易に調達できる。（近隣諸国に比しても英語、フランス語を話せる人間は多いと思われる。）

4．生活する上での、ルーマニアが良かった点

近隣のハンガリー、ウイーン等との比較でお気づきの点

生活上ルーマニアの優位なことは治安の良さと、物価の安さである。輸入品に関しては近隣諸国に比して必ずしも安くはないが、衣料品、食料品は同品質の物が比較的安価で買える。街中の治安に関しても、近隣諸国に比して明らかに安全と思われる。

5．上記を踏まえて、(ルーマニア含む各国が)外資導入を促進するに際して、 障害と思われる事項、改善すべき事項など

経済運営方針の継続性（政権政党はどの政党でも EU 加盟に向け経済運営方針を安定的に維持する必要があり、これを明確にすることで、外資の信頼・安心感を得て、より多くの直接投資を引き出すことを期待する。）

課税に対する運用細則の確立、及びこれらの現場への徹底。

現時点でも高い教育水準にあると思われるが、市場経済化に向けたより一層の意識改革の教育。（ルーマニアに関しては市場経済化が、近隣諸国に比し 4-5 年遅れてスタートした感があり、人材づくりが望まれる。）

国営企業の民営化の更なる徹底等は IMF 等々が指摘しており、今更言うまでもない。民営化が進む以前でもミクロ経済は発展傾向にあり、法律・税制・経済運営方針に安定感・継続性が加われれば、質の高い労働力も合い伴い、外国企業は、ルーマニアへの直接投資を更に積極的に検討するものと期待する。

以上